

連続講座

ZOOMでアンコール開講!

ZOOMの使い方はとっても簡単!メールで送られたURLをクリックするだけでOK!

「日本キリスト教史を読む」I (明治篇)

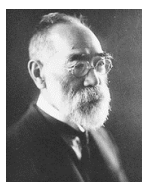
明治期の初め、この国にプロテスタント・キリスト教が初めて紹介された時、それはどのように受け取られ、受容されたのでしょうか。新島襄、海老名弾正、矢嶋楫子、植村正久、内村鑑三、新渡戸稲造、柏木義円など、第一世代のクリスチャンたちの生涯とその信仰理解に遡って一緒に考えてみたいと思います。この講座は、アンコール開講の要望に応じて、2017年度に実施したプログラムに若干手を入れてオンライン(ZOOM)で実施します。見逃した方は録画受講も可能です、是非ご参加ください。(来場での受講はできません)



第1回 5月13日
幕末期宣教師の来日と日本の教会の出発



第2回 6月10日
新島襄の生涯とその初発の信仰



第3回 7月8日
海老名弾正の生涯とその選択的受容の信仰



第4回 8月12日
女子教育と女性運動に献げた矢嶋楫子の生涯



第5回 9月9日
植村正久の生涯とその正統的信仰理解



第6回 10月14日
内村鑑三の生涯とその贖罪信仰



第7回 11月11日
新渡戸稲造の生涯とその人格的信仰



第8回 12月9日
柏木義円の生涯とその牧師としての闘い

日 時 第2木曜日 14時~16時

受講料 全8回(一括)6,000円

お申込み 早稲田奉仕園ホームページ内
「Program」よりお申し込みください



講師 戒能信生 (かいのう のぶお)

日本基督教団千代田教会牧師、日本聖書神学校講師、農村伝道神学校講師、東京バプテスト神学校講師

早稲田奉仕園プログラム

検索

www.hoshien.or.jp/program/

お問い合わせ

公益財団法人早稲田奉仕園
東京都新宿区西早稲田2-3-1
Tel: 03-3205-5403
Email: program@hoshien.or.jp